



いっぱいおそわったよ

★シニアカレッジ江差学園「幼稚園との交流会」

ここに
注目!!

江差町産業資金の債権権利を放棄

令和3年第2回定例会が6月15日に行われ、条例の一部改正、予算補正など、提案された案件を審議し、全て原案通り可決しました。

また、7人の議員が一般質問を行い、さまざまな観点から町政に問いかけました。



江差青果卸売市場(株)に貸し付けした 江差町産業資金の債権について 580万円の『権利放棄』を 賛成多数で可決



権利放棄する金額 **5,828,606円**

(内訳)

令和元年度後期江差町産業資金
元金10,000,000円のうち **3,924,853円**
利子 **63,753円**
令和3年7月5日までの延滞金 **1,840,000円**

江差青果卸売市場(株)清算時点での、江差町産業資金の返済方法について民事調停の申し立てがあり、調停委員会より調停条項案が勧告され、町はそれを受諾し、債権権利を放棄するもの。

【民事調停事件に係る調停案】

◇申立人

- (1) 江差青果卸売市場(株) 代表清算人
- (2) 連帯保証人

◇相手方 江差町

◇事件の概要

令和元年10月に江差町が江差青果卸売市場(株)に貸付した江差町産業資金1千万円の返済方法について、令和3年2月に江差簡易裁判所に民事調停を申し立てたもの

◇調停条項

- (1) 江差町産業資金元金1千万円及び利息及び遅延損害金を連帯して支払う義務のあることを認める。
- (2) R3.7.30限り、元金1千万円のうち、6,075,147円を相手方に支払う。
- (3) 相手方は、利息及び遅延延滞金の全部及び元金のうち3,924,853円を免除する。
- (4) 本和解条項に定めるもののほか、何らの債権債務のないことを相互に確認する。
- (5) 調停費用は各自の負担。

◇これまでの略歴

昭和40年	江差青果卸売市場(株)設立
昭和47年12月	江差町地方卸売市場開設
平成22年	江差町産業資金500万円貸付、返還
平成23年	江差町産業資金1,000万円貸付、返還
平成24年	江差町産業資金1,800万円貸付、返還
平成25年	以後毎年、江差町産業資金2,000万円貸付、返還
～平成29年	債務超過決算となる
平成25年～	運営資金補助金200万円支援
平成29年	近隣町へ現状の説明、アンケート調査、行政の財政支援は難しく、廃業も視野に検討すべきとの回答有
	江差商工会と連携し、各町商工会へ存続協力の要請実施
平成30年	運営資金補助金350万円支援
	各町商工担当課長会議を開催
平成31年	運営資金補助金500万円支援
令和元年6月	全員協議会。江差町地方卸売市場(株)が厳しい経営状況で、町の支援のあり方を再検討する旨が報告される
令和2年1月	江差青果卸売市場(株)臨時取締役会臨時株主総会
	全員協議会。廃業決定が報告される
3月末	江差青果卸売市場(株)廃業
令和3年2月	民事調停申立

※町の説明及び資料により作成

第2回定例会 こんなことが決まりました！

補正予算

- ◇高齢者施設及び介護保険施設等従事者PCR検査
118万円（全額国庫支出金）

施設職員が感染流行地域との止むを得ない往来等のある場合の、自宅待機期間短縮のためのPCR検査費用を支援。

- ◇江差EZOCA普及促進
166万6千円（全額国庫支出金）

新規発行の地域買い物カード（江差EZOCA）の全道への普及促進のためのイベントを開催。

- ◇“第2弾”事業継続支援緊急給付金
3,500万円（全額国庫支出金）

売上の減少が著しい中小企業者へ、事業継続の下支えや感染拡大防止対策等に広く使える給付金を支給。

- ◇地域経済活性化支援補助
110万円（全額国庫支出金）

人口減少と人手不足、後継者不在など、事業継承が課題であり、昨年度、江差商工会が実施した調査の追跡調査を行なう。

- ◇商店街地域拠点施設感染防止対策支援
30万円（全額国庫支出金）

従前から活動している地域コミュニティ拠点施設の感染防止対策への支援。



寄伝家



かあちゃん食堂



チャミセ

- ◇指定避難所Wi-Fi環境整備
108万4千円（全額国庫支出金）

江差町文化会館は避難者大規模収容施設や役場庁舎被災時の代替庁舎の第一候補であり、防災拠点としてのWi-Fi環境を整備。

- ◇図書館システム整備
662万3千円（全額国庫支出金）
- 図書館システムを導入することで、滞在時間縮小や非対面の貸出環境を整備し、感染予防を図る。

その他

- ◇建設工事委託に関する協定の締結
江差町公共下水道江差・上ノ国下水道管理センター建設工事

- ◇江差町土地開発公社の解散
保有する全ての公有用地を処分し、令和3年度を目途に解散し、借入金を完済。北海道知事への解散許可を受けるもの。

- ◇ニシンチャレンジカップ実行委員会補助
154万円（その他特定財源他）

ニシンを軸とした食や遊びを通して、持続可能な産業基盤形成等を目指す事業への補助。

- ◇江差町地域づくりポイント発行事業
60万8千円（全額その他特定財源）

江差EZOCA利用による町への還元を原資として、町の保健事業や防災訓練等の参加者へポイント付与のための経費。

- ◇北の江の島拠点施設整備構想策定
831万8千円（全額一般財源）

現江差海の駅開陽丸に、新たに道の駅機能を付加し、新たな交流人口の拡大や、町民も目指す場所となるための拠点施設整備の基本方針を定めるための策定委託費用。

- ◇東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウン推進
450万円（道支出金他）

ホストタウンとして、アメリカ女子シッティングバレーボール選手団との事後交流等の取り組みを展開。

- ◇低所得子育て世帯給付金
410万3千円（国庫支出金他）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世代への生活支援を行う観点から、特別給付金を支給。

条例制定

- ◇江差町国民健康保険税条例の一部改正
保険税率の改正や新型コロナウイルス感染症の影響による減免特例に伴う条例の改正。

- ◇江差町国民健康保険条例の一部改正
新型コロナウイルス感染症の定義変更に伴う条例の改正。

- ◇江差町介護保険条例の一部改正
新型コロナウイルス感染症の影響による減免や定義変更に伴う条例の改正。

- ◇江差町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
国の省令改正に伴う条例の改正。

- ◇江差町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
国の基準一部改正に伴う条例の改正。

人事

- ◇農業委員会委員の任命（13名）

第2回定例会 行政報告



次のとおり、町長が行政報告しました。

- 1 令和2年度江差町各会計決算見込みについて

歳入総額	64億8,269万1千円
歳出総額	62億3,812万5千円
歳入歳出差引	2億4,456万6千円

 繰越明許費繰越しを差し引いた実質収支は1億7,720万1千円で、9,000万円を財政調整基金に積立、残額は繰越金。

- 2 令和2年度江差町水道事業会計決算概要について

営業収益	2億6,506万3千円
営業費用	2億5,682万5千円
営業外収益	1億8,772万5千円
営業外費用	5,310万円
当年度純利益	1億1,035万4千円

- 3 新型コロナウイルスワクチン接種状況について

高齢者対象接種（6月14日現在）	
対象者	2,930名のうち、
1回目接種	2,058名（70.2%）
2回目接種	713名（24.3%）

 7月末までには完了する見込み

意見書を提出

6月定例会では5件の意見書を提出し、全て可決、関係行政機関へ提出しました。

- ◆日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書
- ◆地方財政の充実・強化に関する意見書
- ◆義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
- ◆2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

一般質問 七議員が町政を問う

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質することができる唯一の場です。

◆質問は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

◆表示の説明◆

文中の(問、再問)はそれぞれ再質問、再再質問を表します。



議員(無党派) 徹

萩原

6月定例会 一般質問

コロナ禍での江差追分は 答 会員との繋がりを大切に

江差追分全国大会は、昨年に引き続き中止。追分関係者や江差町の経済に与える影響は大変大きい。

江差追分の運営等は、江差追分会の理事会や総会等で決めるが、江差追分会の会長である町長に対し伺う。

コロナ禍にもよるが、来年度、どのような形で予選会をやるのか。

また、江差追分会の会員は年々減少しているが、コロナ禍で益々会員の減少や支部の閉鎖等、考えられるが、会長としてどう考えているか。

今回の中止により追分会の会員は目標を失っている。

コロナ禍でも、感染対策を講じてコンサート等を開催していることを考えると、地区単位でも大会等を開催しても良いのではと考える。

今後、どのようなことを考えているか。

町長 来年度の予選会開催については、現在、国を挙げてワクチン接種の取組が進められており、その効果によって国内のコロナウイルスが終息し、来年こそ通常どおり大会を開催できることを期待しつつ、終息まで至らない場合であっても、地区選抜大会、全国大会が開催できる方策について、今から模索している。

ご指摘のとおり、趣味の多様化や少子高齢化等、更に、このコロナ禍による全国大会の中止や活動の制限によるモチベーションの低下など、益々会員数、支部数の減少に拍車がかかるのではないかと危惧している。

そのため、中学3年生の発表会やオンライン道場、地区大会動画審査対応などの取組も検討している。

地区単位での大会などは、感染状況は各地

区でそれぞれ異なることから、各地区が状況を見極め、しっかりと対策を講じた中で自主的に開催する場合は、江差追分会としても協力していく。

町にとって江差追分は大切な文化であり、地域振興に繋がる財産であり、会員の方々は大切な存在である。

引き続き会員との繋がりを大切にし、江差追分の普及発展を後退させることなく、取り組んでいく。



魂の唄江差追分思い出発表会（昨年度）



江差追分全国大会（一昨年度の様子）



飯田 隆一 議員 (無党派)

6月定例会 一般質問

高齢者ワクチン接種の問題点は

答 大きなトラブルはない

町では高齢者、医療関係者、高齢者福祉施設等でワクチン先行接種が行われたが、問題点や改善点があったら伺いたい。

高齢者の接種終了後のワクチン接種の順番は、単に年齢で区切るのではなく、学校や幼稚園、保育園の先生始め関係者。宿泊事業者、観光お土産事業者も優先接種が求められる。オリパラホストタウン事業は、開催に疑問はあるが、1か月後に控えた中では、実施をせざるを得ないのでないかと考える。その対応にあたる関係者は優先的にワクチン接種をすべきと考えるが、町長の考えは。PCR検査は、濃厚接触者の家族やその他の接触された方は、なかなか検査が受けられない実態がある。医師会や関係機関に要望を出し、PCR検査体制充実を求めるべきと考えるが如何か。



高齢者のワクチン先行接種

介護保険料等の高額理由は

答 関係施設の充実による

高額な介護保険料や水道料金は、今後の町づくりに変なマイナスマテリアルであり、是正すべき。

高額となっている背景や要因をどう分析されているか。

その軽減対策は。

町長 江差町は、特に施設系サービスの利用量の増加が保険料にそのまま反映されている。近隣町に比べて高齢

者施設や介護サービスを提供する事業所が充実し、高齢者が安心して生活できる環境が充実していることは、良いことではあるが、一方で介護保険料の負担を軽減するためには、介護サービス量を抑制することが課題。

水道料金は、上ノ国ダム建設に伴い、導水管の整備や砂川浄水場の建設等の一連の整備

にかかる財政負担が高料金の大きな要因。引き続き効率的な施設の運営に取組、更なるスリム化に努める。

魅力ある江差高校に

答 客観的データで検討

公立高校配置計画案が道教委より示され、江差高校は、24年度まで間口が確保される見通しではあるが、来年度、3間口確保に向けて受験者の数と、また進路動向等、想定はどうか押さえているか。

また、中学生が進んで入学したい高校。魅力ある江差高校にするため、近隣町や高校と連携を取り、協議会を

立ち上げて行動すべきと提案する。

通学バス代が高額である。出身地によって格差があつてはならない。その解消は。

江差町が中心となり、他町を交えながら、魅力ある江差高校にするための手立てを早急に取るべきと考えるが、教育長の所見は。

教育長 基本的には、進学される生徒の将来

の進路がかなうような高校であろうと考える。ニーズ調査などを実施し、客観的データに基づき、具体的に検討する。

バス代の補助も、魅力化のためにどのような制度が求められているのか検討する中で、検討すべき。

近隣町の教育長とは情報交換を含め、話し合いをしている。



塚本 眞 議員 (無党派)

6月定例会 一般質問

基礎疾患の優先判断は

答 全て年齢区分で分ける

自宅介護を受けている接種希望者や、自力で集団接種会場に行けない方の対応は。

65歳未満の接種計画をプライオリティに基づき、説明していく必要がある。

高齢者接種以外の方々は、いつワクチン接種されるのか見えなく、非常に不安を抱えており、アナウンスも必要と思うが。

町長 在宅介護を受けている方などは、介護サービス事業者の移送サービスを利用したり、ご家族の送迎や付き添いで集団接種会場に来ている。

64歳以下の接種対象者全員に一齐に接種券を送付することで、予約受付の混雑が想定されるため、年齢ごとに区切った接種券発送と、それに合わせた段階的な申込受付をさせていた方がよい。詳細は広報や戸別チラシ等で周知する。

介護保険料軽減対策は

答 地域支え合い活動で

非常に介護保険料が上がってきている。

介護福祉施設だけに頼るのではなく、在宅介護を中心にサービスを考える等、負担料金の軽減に対する対応が必要と考えるが如何か。

町長 在宅生活を続けることが介護保険料の抑制にもつながる。

これからも地域住民が主体となった支え合いの活動が定着するよう取り組んでいく。

再 町民の一部では、町外から特老施設等に

入居している方が非常に多いことから、介護保険料が高くなっているのではないかと思われている。

住所地特例はしっかりと運営されているか。

高齢あんしん課長 介護保険制度では、原則として被保険者の住民票がある市町村が保険者となる。

他の市町村の方が江差町の施設に入所しても、江差町はその方の介護保険料を負担することはない。

ホストタウン見直しは

答 万全を期して対応

町で計画している東京オリパラホストタウンに対して、既に当初予算を組み、今後修正も上がってくるが、町として計画を見直す必要があるのではないか。

町長 選手団は、当然感染対策に万全を期した状態で来られる。

受け入れ側としても、消毒や換気の徹底、飛沫対策や3密の回避など、感染対策を徹底した受け入れ体制の構築を図る。

地元の子供達にとっても、出場選手と交流できる機会はそうそうあることでもない。

相手国の意向や今後の感染状況も大きく関わることから、状況を注視しながら交流内容を適宜検討し対応する。

再 状況によっては中止もあり得るのか。

副町長 遂次情報が入るので、動きがあれば議会、町民に周知する。



介護保険料の軽減対策として有効な支え合い活動



小林くにこ 議員 (日本共産党)

6月定例会 一般質問

基礎疾患のある方の優先接種は

答 年齢ごとの取扱い

次の優先接種対象者は年代を問わず、基礎疾患のある方を対象として江差町も進めていくと理解していた。対象の基礎疾患について、若者世代は、かかりつけの医療機関がなく、お薬手帳での疾患管理をしていない場合もあると想定される。基礎疾患の自己申告は自治体によって独自の対応になっているが、町としての所見は。

また、変異型は基礎疾患がない方も重症化しており、接種券の発送は年齢ごととし、受付予約も段階的に実施する方針。

現在8月上旬から10月中に集団接種を終了する予定。

町長 基礎疾患の確認は予診票での自己申告が進めると、予約受付が殺到し、高齢者接種の二の舞になることが想定される。

狂犬病予防接種率は

答 正確な把握は困難

狂犬病は哺乳類全てが感染し、人を除きほぼ100%の致死率。町内でも民家付近にキツネが現れ威嚇、攻撃的な行動も見られる。特に小さなお子さんへの危害を心配している。

畜犬登録数の正確な把握の現状は。過去5年間の狂犬病ワクチンの接種率は。

町長 畜犬登録数は282件だが、飼い主本人からの申請がない方もいるものと思われる。正確な数値は把握できない状況。

5年間の接種率は、平均で63.5%。ただ、注射はしたが、役場で注射済票の交付を受けていない方等の見込み頭数を差し引くと9割近くになるものと推測。

広場や遊び場の検討は

答 多様な声を拾い進める

北の江の鳥拠点施設整備基本構想では、多様な利用者を想定し、快適で観光客への集客効果も考慮した広場や遊び場の検討も、もっと活発にするべきでは。

公園遊具設置案で、想定しているニーズ調査対象年齢は。

町長 函館圏をも意識し、子どもや親子連れが四季を通じ目指す拠点施設を柱に据え、多様な利用者を想定し構想策定に臨む。

今回構想策定を委託するアドバイザーと調整し、多様な声を拾う機会を作り進める。

町長 ニーズ調査対象は、南が丘小学校と江差北小学校の2校を予定。

ゲートキーパー育成は

答 今後も養成していく

ゲートキーパーの育成状況及び相談及び対応件数等、現在の進捗状況は。

医療機関との連携、町民への相談体制のきめ細やかな周知等、今後の取り組みを伺う。

町長 ゲートキーパーについては、令和2年度に役場職員を対象に20名の養成を行った。今後継続的に実施していく予定。

民生委員養成も検討したが、新型コロナウイルス感染症の流行により延期。保健師の相談件数は、令和2年度は35件の相談支援を行っている。

今後は広報等も活用し、町民の目に触れやすい体制に努める。今後も感染予防対策を行った上でのゲートキーパー養成、医療機関や保健所など町内関係機関と連携を図り、

ニーズ調査に決まったのか。

町長 学校遊具であり、その学校児童に聞くのが妥当と判断。地域の未就学の子ども達は、改めて考える。



老朽化する学校遊具 (南が丘小学校)

こころの病の理解が進むよう取り組む。

町長 匿名を前提としたやり取り等、積極的に声を拾う取り組みも是非検討頂きたい。心の診断にICTを活用する動きがある。

第3期江差町教育推進計画で明記しているが、システムを導入するのか。

町長 体制整備を模索したい。学校教育課長 そこまで想定していない。

健康推進課長 体制整備を模索したい。学校教育課長 そこまで想定していない。



小野寺 真 議員 (日本共産党)

6月定例会 一般質問

自宅療養患者の対策を

答 保健所などと協議検討

今後、道南で感染者が急増する場合には入院等の施設が無く、自宅療養している患者対策をやる必要がある。

今道南で落ち着いている、この時間を使って、町も検討する必要があるのではないかと。

地域公共交通計画は

答 課題整理し精査中

公共交通活性化再生法が昨年改正されたが、地域公共交通計画策定は検討段階か。

計画策定時には交通権、移動権を盛り込む対策をとって頂きたい。

エネルギー政策の構築を

答 現時点ではできない

町長 保健所や振興局と協議をし、町としての対応を検討したい。

副町長 道南圏域全体の状況もあり、振興局、保健所とも協議する。

地域公共交通計画は

答 情報共有し進める

町長 現在、地域公共交通の課題を整理し、精査を行っている。

副町長 国の補助金等も、この計画があつてお金が入ることになる。国との関係はどうなつて

資源ごみ対策の実行を

答 情報共有し進める

町長 再度、衛生処理組合が回収することも検討するということか。

副町長 資源ごみは個別収集が当たり前。もう少しきめ細かな回収をできないか。

総務課長 出来るものを整理し、実施に向けて協議検討する。

ヤングケアラーの把握は

答 関係機関と連携して

町長 ヤングケアラーの町内実態は、どのように把握されているか。

副町長 この間、町として対策が行われているか。

町長 昨年度、1件報告。家族に代わり、幼

い兄弟の世話をしているに該当。

家族や周囲の大人に、子どもがヤングケアラーである認識がないとの調査結果もあり、把握は非常に難しい。



町内に設置されているペットボトル回収ボックス

地球温暖化対策推進法改正に基づく、地方公共団体実行計画を町として策定し、どういうエネルギー政策をとるのか明らかにすべき。町のエネルギー政策の基本をどこに置くべきか、考え方を持つべきで、地域にあるエネルギー資源の有効活用により、自立分散型のエネルギーシステムを構築する考え方を、町としても執るべきだと思いが、町長の考えは、計画策定の必要性は認識しているが、

現時点で明確に策定期や内容を言及できる状況ではない。洋上風力で発電された電力について、地域への供給源とするシステムの構築は可能と認識しているが、計画への意見を伝えられる機会が来たら追求したい。

副町長 今進められてるやり方は、事業者と国とで進めている部分に、自治体の声が入りづらい実態では。

まちづくり推進課長 町の考え方を事業者に伝えられるよう構築する。

新たに国では、従前の資源化問題に、プラスチックが法律で定められ、来年から施行。町は、そもそも自治体による資源ごみの分別回収がされていない。プラスチックを含めた資源ごみ対策を実行することが求められるが、町長のお考えは。

町長 資源ごみ回収は、町としても避けて通れず、南部松山衛生処理組合や組合構成町とも情報共有しながら進める。

副町長 資源ごみに関しては、衛生処理組合ではなく、各自治体でやることとしたのでは。



小梅 洋子 議員 (無党派)

6月定例会 一般質問

チーム江差の活動状況は

答 改めて働きかけを

チーム江差は、高齢化が進む地域で、情報提供をお願いしているお店や事業所のこと。その大切な役割を持つ加入店が、最近減少しているが、今後の対応は。

その減少の原因は、閉店または廃業によるものか。

平成25年の12月に立ち上げられたチームだが、それ以降、新たな加入案内はどうなっているか。

既存の加入店には、目的と継続確認のお願いはなされているか。

名簿には町内会連合会等の大きな組織も載っているが、それぞれの単位町内会の方が対応が良いのでは。

代表者部会は何人で構成されているか。

町長 近年は閉店による加盟店が減少となっている。

本年度は、事業開始当初に参加協力承諾の確認が取れていなかった事業所もあることか

ら、あらためて協力をお願いする。

加入先には、お便りを発行するなど、あらためて理解と協力を働きかけする。

町内会連合会事務局と、これからも協力を制を持って取り組んで頂くことを確認した。

今後は各町内会単位にも、その都度周知し、活動を地域に広めたい。

代表者部会は、正しくは代表者会議で、高齢者福祉に関係する機関や警察署、消防署など、19の関係機関で構成し、様々な分野で取り組まれている活動や情報交換する場として年1回程度開催している。

町 お知らせをFAXではなく、生活支援コーディネーターの活動の一環としてお店に顔出しし、声掛けをした方が良いのでは。

高齢あんしん課長 丁寧をお願いしていく。

配食サービスの構想は

答 実情に応える制度へ

第7期の高齢者福祉計画で、大事な介護サービス基盤である配食サービスの利用が全くない状態。

介護予防の日常調査では、低栄養の該当者はほとんどないという結果を見て、やはり必ず

通報世帯番号導入を

答 導入予定はない

119番通報世帯番号は、上ノ国町で昨年から導入されている。

火事と救急は119番と大きな字で、その下に町内会名と数字が書かれたステッカーが、各家庭の目立つところに貼られおり、救急の

要性がないと納得。

それでも、第8期の目標を300食として設定しているが、どんな構想を持っているか。

町長 計画初年度の目標値で、現段階では、事業対象者を総合事業対象者のうち食事調理

場合、町内名と番号だけで場所が伝わる。

高齢者の独居者が多い中、救急の時にそこに居合わせた者が通報できるのはとても便利だと思う。

地域性の違いもあるが、通報世帯番号導入

かもめ島で追分大合唱を

答 江差追分会を支援

町民が追分に触れる機会も失われている。

かもめ島を舞台に、子ども達も一緒に町民での追分の大合唱は如何か。

町長 江差追分会で決定された取り組みに対し、可能な限り支援をしていく。

が困難な単身高齢者等を想定し、年間150食2名分程度を提供した場合の食数。

第8期計画期間中の3年間で、町の実情に応える制度とできるよう取り組む。

をどう考えているか。

町長 江差消防署は、電子地図検索ソフトを利用し、パソコン上で詳細な場所まで特定し出勤する体制をとっており、到着遅延などの問題は生じておらず、導入予定はない。



江差中学校による追分大合唱 (一昨年度)



出崎 太郎 議員 (無党派)

6月定例会 一般質問

南埠頭の港機能配慮を

答 利活用を高める

南埠頭を含めた北の江の島拠点施設の整備が進められようとしている。

南埠頭は、町づくりの観点からも重要な位置にあるが、港湾施設の一翼を担っている。

江差港は檜山沖洋上風力発電事業が開始された時には、メンテナンス港としての役割も期待されている。

また、防災上の役割もある。

将来の江差港のあり方を見据えた上で、南埠頭が縮小することで港機能を損なわないような配慮が必要と考えるが如何か。



有効活用が望まれる南埠頭用地

町長 現在の江差港整備は、平成14年3月に策定した江差港長期構想計画に基づいたものとなっている。

計画で示されたゾーニングを大まかに分類すると、新北埠頭と北埠頭を物流ゾーン、中央埠頭を漁港ゾーン、フェリー、防災ゾーン、南埠頭を生活、観光ゾーンと整理されている。

北の江の島構想推進では、こうした江差港長期構想の整備イメージに十分配慮し進める。計画に基づく、そういう役割は物流ゾーンとして新北埠頭、北埠頭がそれを担うと想定している。

構想策定にあたっては、函館開発建設部等の意見も聞きながら、北の江の島構想の実現により、生活、観光ゾーンと位置付けられている南埠頭の利活用を高める事業展開を模索していく。

サツドラの公共交通知見

答 民間の視点が大切

サツドラ社の公共交通分野での知見について、包括連携協定を締結し、民間の知見を活用して地域の課題解決を図ることは、新しい試みとしてその成果を評価する。

広報えさし5月号で町長が述べているように、今後のまちづくりにおいて、車を持たない町民への配慮は欠かせない。

サツドラ社長との談話記事によれば、同社は公共交通の部分で知見をお持ちのようだが、分かっている範囲で、その内容についてお聞かせ願いたい。

町長 サツドラは、高齢化が進む江差の課題解決は近い将来の北海道、あるいは国の課題解決にそのままつながると考え、ここ江差で多方面に渡り実証実験を進めながら、江差モデルを確立し、全道展開につなげたいとしている。

サツドラが交通に関する知見を有するののかとの質問だが、同社自体が全てを担うのではなく、同社が事業の核となり複数の事業体を組み合わせた取り組みを目指すもの。

現時点では、江差町内の交通空白地帯において、情報通信技術を活用しながら、路線バスとタクシートの性質を併せ持つ交通システムである、デマンドバスを走らせる実証実験ができないかを議論しているところ。

江差町はもちろん、デマンド型運行システムを全国で手掛ける複数の企業や、公立はこだて未来大学にも参加している。

江差町が抱える地域公共交通に係る課題解決の一つにつながる可能性があるので、実現に向けた協議を続け、具体的に方向性が見えたら説明する。

再 サツドラは、ドラックストアの会社だと思いが、これまでで具体的な取り組み等、そのあたりは如何か。

まちづくり推進課長

知る限りでは、残念ながら持っている。

ただ、デマンドをやるにあたっては、公共だけがやるのではなく、民間の視点を入れながらやっていくということが非常に大切。

サツドラから是非、町と一緒にやってみてみたいという話があり、4月以降、数度いろんな打ち合わせをしているが、残念ながらまだ議会にお知らせできるほどまでの煮詰まりになっていない。

実施方法を伝えられるようになったら紹介する。

定例会
議案審議
行政報告
一般質問
委員会
出欠報告

新しい委員会の構成決まる

江差町議会では、各常任委員会等の任期を2年とし、2年ごとに委員会の構成を変更しています。第2回定例会において、常任委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会の改選が行われ、委員会の構成が以下のとおり決定されました。

総務産業常任委員会

委員長：小梅 洋子 : 総合的企画、財産管理、財務、農林及び水産業、商工、観光及び労働、土木及び建築、都市計画、港湾、上水道及び下水道に関すること。他の委員会の所管に属しないことを調査します。

副委員長：小林くにこ

委員：飯田 隆一

委員：室井 正行

委員：塚本 眞

委員：大門 和幸

社会文教常任委員会

委員長：小野寺 真 : 社会福祉、消防、保健衛生、教育及び文化に関することを調査します。

副委員長：出崎 太郎

委員：薄木 晴午

委員：萩原 徹

委員：西海谷 望

議会運営委員会

委員長：室井 正行 : 議会を円滑に、効率的に運営するために、議会の運営に関する事項や議長の諮問に関する事項を調査したり、請願などの審査も行います。

副委員長：西海谷 望

委員：飯田 隆一

委員：小野寺 真

委員：塚本 眞

議会広報特別委員会

委員長：塚本 眞 : 年4回開催される定例会に合わせ、審議内容等をお知らせする議会だよりの編集・発行、議会ホームページの充実などを通じ、情報公開に努めています。

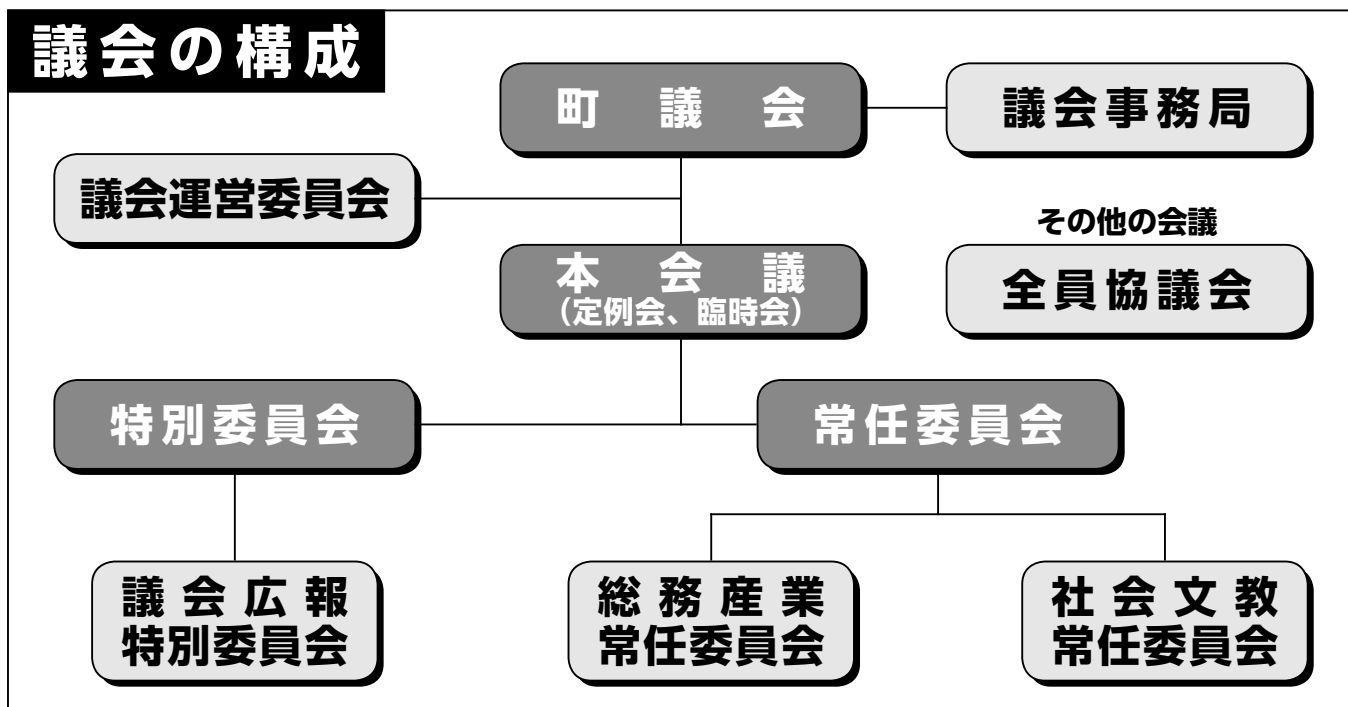
副委員長：出崎 太郎

委員：西海谷 望

委員：小林くにこ

委員：大門 和幸

議会の構成



全員協議会を開催しました！

4月28日から7月15日までに開催した全員協議会について、その内容をお知らせします。

4月28日

- ・新型コロナウイルスワクチン接種の開始について
- ・江差追分全国大会の中止について

5月28日

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について
- ・「江差・八雲線」(バス路線)の廃止について
- ・産業資金貸付債務に関する対処方針について(江差青果卸売市場)
- ・「北の江の島拠点施設整備構想」策定について
- ・常任委員、議会運営委員、議会広報特別委員の選任について

7月15日

- ・コロナウイルスワクチン接種について(64歳以下)
- ・江差町地域公共交通活性化協議会(法定協議会)の設置について
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について



出欠状況をお知らせします！

令和3年4月1日から6月14日の出欠状況です。斜線部分は出席する必要のない会議です。

会議名	会議日	総務産業常任委員会						社会文教常任委員会					議長 打越東亜夫
		西海谷望委	出崎太郎副	薄木晴午	飯田隆一	小野寺真	萩原徹	塚本真(委)	小林くにこ(副)	室井正行	小梅洋子	大門和幸	
第2回臨時会	4月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全員協議会	4月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会広報特別委員会	4月5日	○	○	/	/	/	/	○	○	/	/	○	/
	4月21日	○	○	/	/	/	/	○	○	/	/	○	/
議会運営委員会	4月28日	○	/	/	○	○	/	○	/	○	/	/	○
	5月25日	○	/	/	○	○	/	○	/	○	/	/	○
	6月7日	○	/	/	○	○	/	○	/	○	/	/	○

○：出席 ▲：欠席(公務) ●：欠席(傷病・出産・育児・看護・介護・私用)

※常任委員の委員構成変更のため、6月15日以降は、次号でお知らせします。

議会で決まったけど、その後はどうなった？



かもめ島まつりで賑わう



ナイトシアターでの活用



解体前



解体後

令和3年第1回臨時会（2/19）補正予算
旧民宿施設解体 3,865万4千円（全額一般財源）
（旧花月旅館の解体）

議会の動き

- 4月28日 ◆議会運営委員会（出席5名）
・第2回臨時会の運営について
◆全員協議会（出席12名）
・新型コロナウイルスワクチン接種の開始について
・江差追分全国大会の中止について
◆第2回臨時会（出席12名）
-
- 5月25日 ◆議会運営委員会（出席5名）
・第2回定例会の運営について（1回目）
28日 ◆全員協議会（出席12名）
・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について
・「江差・八雲線」（バス路線）の廃止について
・産業資金貸付債務に関する対処方針について
・「北の江の島拠点施設整備構想」策定について
・常任委員、議会運営委員、議会広報特別委員の選任について
-
- 6月7日 ◆議会運営委員会（出席5名）
・第2回定例会の運営について（2回目）
15日 ◆第2回定例会（出席12名）
-
- 7月5日 ◆広報特別委員会（出席5名）
・8月号議会だよりについて（1回目）
15日 ◆議会運営委員会（出席5名）
・第3回臨時会の運営について
◆全員協議会（出席12名）
・コロナウイルスワクチン接種について
・江差町地域公共交通活性化協議会（法定協議会）の設置について
・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について
19日 ◆広報特別委員会（出席5名）
・8月号議会だよりについて（2回目）

みんなの議会 傍聴しませんか 次の定例会は9月です。

日程は、町広報誌やホームページでお知らせします。

江差町議会本会議は、どなたでも傍聴することができます。

町民の皆様が選んだ議員の活動状況や、町政の方針などを議場で確かめましょう。

議会の傍聴は簡単で、都合の良い時間で傍聴できます。

皆様の傍聴をお待ちしております。

今号の表紙

☆たくさんの笑顔があふれていました

あやとりやトントン相撲、折り紙の魚釣りなど、たくさんの遊びをシニアカレッジの皆さんに教えてもらい、大はしゃぎのかわいい笑顔が見られました。

すべての写真が掲載できないのが残念です。

ご協力下さった皆さま、ありがとうございました。



（撮影者：小林くにこ 議会広報特別委員会委員）

議会からのお願い 議会だより取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



この用紙は、原材料の一部に
道産間伐材を使用しています